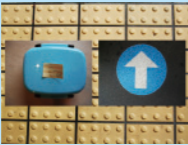


3C Gallery

24 Sakura Kelley

なんまいかのイメージをくみたてて、multiple perspectivesときもちをあらわすさくひんをつくっています。スタジオでは、日本にひっこしてからの、あたらしいかんきょうについてのさくひんをつくっています。いままでには、memory, contradiction, traumaなどのテーマのさくひんをつくってきました。そしていまもつづけています。
□Sakura Kelley was born in 1989 in San Diego, California. She received a Bachelor's degree from the University of California, Santa Cruz in 2012.



25 pinpin co

人が、「地図」を描くのと同じように、メモを取るのと同じように、私は、「記録」をする行為として手を動かしている。自分の呼吸と相手の呼吸にリズムを合わせながら、目の前に起きていることを、丁寧にいねいに確かめて行く作業。大学で建築を学んだ後、その思考を都市から人へと展開させ絵を描き続ける。滞在中は、1日1人、公募で集めた40人の顔に描くプロジェクト【MORE THAN THE FACE】を実施。プロジェクトwebサイト: <http://pinpinco.tumblr.com/>
□中国・浙江省生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。東京藝術大学大学院建築専攻修了。



26 飛田庸徳 Yasunori Hida

「人生」をテーマにし「女性」「風」をモチーフにした幻想的な平面作品・グラフィックアートを制作。今回初めてARTIST in Studioに参加し、作品制作は勿論、参加アーティスト方の思考や制作過程を目の当たりにし自分と向き合い制作・研究する。そして今度は平面作品を制作してきましたが、今回は、空間を使った作品も制作する。
□1986年神奈川県生まれ。2005年神奈川県立上矢部高等学校(美術・陶芸コース)卒業。09年学校法人専門学校東洋美術学校視覚伝達デザイン科(現クリエイティブデザイン科)卒業。



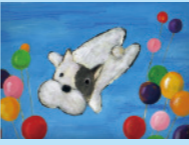
27 石田真吾 Shingo Ishida

私にとっての制作とは、精神の豊かさを保つための行為であり自由になれる貴重な時間でもあります。私は、今回のスタジオ制作で自身の制作スタイル・環境・考え方を見つめ直すと共に、これまで「当たり前」、「普通」だと決めつけていた固定観念を打ち破りたいと思っています。作家同士が、開放的な制作環境を共有の場としルームシェア感覚でお互いに刺激を受けコミュニケーションを取りながら制作に励むスタジオでの制作は、私にとってこれまでに無かった新しい試みです。「孤独」と「連帯」とが同居する環境の下、自身の今後の制作の新たな方向性を掴めればと思います。
□京都造形芸術大学芸術学部映像・舞台芸術学科映像芸術コース卒。中野画廊AVENUEにて個展(2007年2月/09年4月/10年4月/11年4月)、NY・OUCHI GALLERYにて個展。



28 鈴木智恵 Tomoe Suzuki

疑うことを知らず、誰とでも仲良くなっていくフレンチ・ブルドッグの赤ちゃん「ふーちゃん」。その「ふーちゃん」が主人公のオリジナル絵本「ふーちゃん そらをとぶ」を題材にしたミラクルアートワールドの中で、アーティストによる親子参加型のワークショップを開催します。ARTIST in Studio 2012というワクワクドキドキする空間の中で、圧倒的な存在感を放つ他のアーティストたちの作品に囲まれて、親子たちはどんなミラクルアートワールドを作り上げるのでしょうか？
□横浜生まれ。広告クリエイターを経て現在キュレーターとして活動。
【イベント】[ARTIST in Studio 2012という刺激的空間で繰り広げられる親子アートワークショップ！]
7月8日(日)・9日(月)・11日(水)・13日(金)・15日(日)・14:00-参加費:親子ペア¥1,000(材料費込み)/ご兄弟参加+¥500
対象年齢:3歳以上(15日は4歳以上)



29 岩間正明 Masaaki Iwama

テーマ: Show My True Colors
・古着を素材に、機械織で裂き織り作品を制作。自分の色合いを紡ぎ出す。
・古本を素材に、本への感謝とその弔い方を表現する。
・道路地図を素材に、地図の平面に縦穴を開け、内面の探索に出かける。
□1947年大阪府生まれ。1972年早稲田大学卒業。2007年リタイア。09年アート・グループ(Play Art Laboratory)に参加。11年6-7月 BankART Artist in Studio に参加し制作・展示。同11月、都筑区せせらぎ公園古民家にてグループ展出演。



30 BankART妻有

大地の芸術祭開催地のひとつである「まつだい」の山奥にある農家を2006年に取得して6年目。家の部位(すすりや呼び鈴)全てをアーティストに委ね、古い農家の改修をゆっくり進めている。吹き抜け土間と8ベッドルームある大きな家。



BankART AIR PROGRAM

OPEN STUDIO 2012

2012年7月6日[金]-7月16日[月・祝] 11:30-19:00 (最終日18:00まで)

会場=BankART Studio NYK 入場無料

オープニングパーティー:7月6日[金] 19:00- 料金:500円

BankARTでは今年もレジデンスプログラムを企画し、現在公募で選ばれた27組のアーティストが制作を行なっています。5月15日に入居してから2ヶ月間を経たばかりですが、その成果の一部をご覧頂きたく思います。オープニングスタジオは、普段の制作風景を見ていただくというのが主で、展示としての完成度を指すものではありません。アーティスト達の生き生きとした制作現場をご覧になり、交流していただければと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

■ アーティストトーク@BankART Pub

BankART Studio NYKにスタジオインしているアーティストたちの連続バブトークを開催します。ドリンク片手に、気軽にご参加ください。

時間=19:00-20:30 参加費=バブでのドリンクのご注文をお願いします。

6/9 [土] Sakura Kelley, 石田真吾, 宮崎しずか

6/16 [土] pinpin co, 飛田庸徳, おおざわともこ, おおば英ゆき, 洗川寿華, 飯塚 緑

6/22 [金] テラダケイゴ, 坂間真実, 鈴木智恵, 幸田千依, 江口久美子, ヨコラボ+ (中村達哉・安藤真理・眼鏡太郎)

6/23 [土] 木村友輝, 佐々木 哲, 曾谷朝絵, 三宅由梨, 渡邊聖子, 飯島剛哉

6/30 [土] 宇田奈緒, 秋山直子, 清水総二, 三浦かおり, 岩間正明, まつながえみ

□お問い合わせ BankART1929

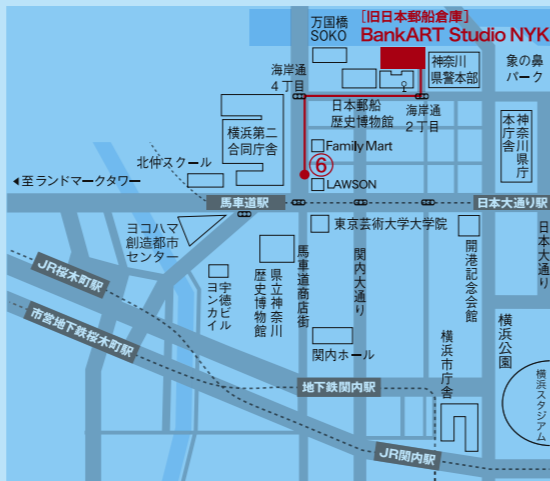
〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9

TEL:045-663-2812 FAX:045-663-2813

studio@bankart1929.com

□アクセス

横浜みなとみらい線「馬車道駅」6出口[赤れんが倉庫口]徒歩5分

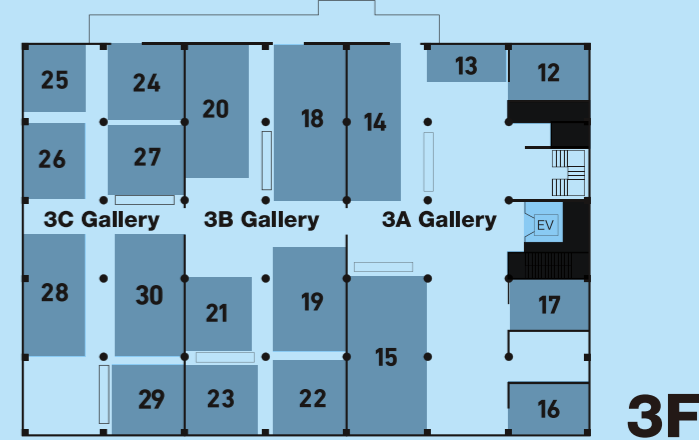
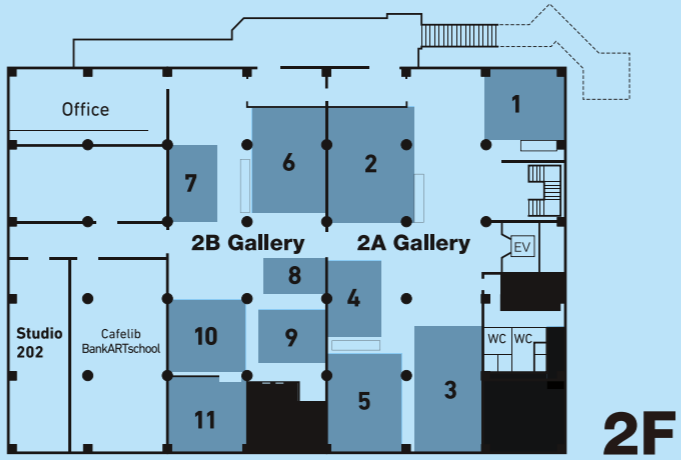


BankART AIR PROGRAM

OPEN STUDIO 2012

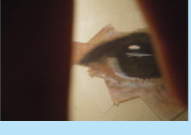
7.6fri-16mon
BankART Studio NYK

OPEN STUDIO 2012



2A Gallery

1 坂間真実 Mami Sakama
目の前に白い壁がある。表面には凹凸があり、コンクリートの重みを感じる剥き出しの壁。机から顔を上げ壁を見ると、同じく壁もこちらを見ている気がした。それから私は壁のことばかりを考えていた。ある日、その壁に1200×900ほどの大きさの目をつけてみた。目がついた壁を見ていると、今度はまばたきを始めた。動き出した目の前の壁を、紙と映像と身体で表現する。
□1982年静岡県生まれ。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻修了。第15回岡本太郎現代芸術賞特別賞受賞。2008年大橋可也&ダンス「帝国、エアリアル」出演(新国立劇場)。



2 曾谷朝絵 Asae Soya
今回のスタジオインでは、油彩絵画とインスタレーション及び映像作品とパブリック・アートのプランを制作。
□2006年東京藝術大学大学院修士課程にて博士(美術)取得。01年「昭和シェル石油現代美術賞展」グランプリ、02年「VOCA展2002」VOCA賞など受賞多数。絵画とインスタレーションの両面で制作する。(個展)07年「Prism」西村画廊、10年「鳴る色」資生堂ギャラリー、11年「Float」西村画廊、「Swim」おぶせミュージアム。(グループ展)「第1回 府中ビエンナーレ ダブルリアリティ」府中市美術館、「こもれび展」水戸芸術館、05年「Art Today 2005」セゾン現代美術館、「放飛新世界」PYO Gallery(北京)、「カフェ・イン」水戸2011」水戸芸術館、「ニューアート展 NEXT 2011 Sparkling Days」横浜市民ギャラリー等。



3 おおば英ゆき Hideyuki Ohba
・ぼくは誰なんだろう。
・ぼくは何をみているんだろう。
・ぼくは今どこにいるんだろう。
ぼくはこの3つのコンセプトに乗っかって制作している。ぼくは鏡みたいなもので、ぼくにはいろいろなものが映り込む。そこには世界の姿が映っていると考える。ぼくはただそれをカタチにしているだけなのだ。
□京都造形芸術大学卒、2004年キャノン写真新世紀優秀賞、2010年岡本太郎現代芸術賞入選。
【イベント】
7月15日(日)15:00-「靴を履く」パフォーマンス&公開撮影



4 三浦かおり Kaori Miura
人や物かもつ「記憶」をベースに「文庫本(古本)」を使ったインスタレーション作品を制作。本は良く読むけれど、一度読んだ本の内容をどれだけ覚えているかという怪しいな、と思ったことがきっかけで素材にしています。また、「本棚を見ればその人の考え方がわかる」といわれるように、古本として店に並んでいる様子は日本人の考え方そのもの。なるべくたくさんの本を集めて作品を構成する予定です。
□東京生まれ。京都造形芸術大学卒業。

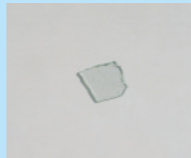


5 洗川寿華 Juka Araiawa
今回の滞在では、アルゼンチンの作家ピョイ・カサーレスの小説「Invention of Morel」をもとにペインティングを制作。
□2006年カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)卒。現在は横浜を拠点として活動中。自然に存在するさまざまな神秘的な構図を、屋内の空間に再現することで、現実と未知なる世界の狭間を行き来する作品を数多く手がける。近年は、ロサンゼルスBlack Dragon SocietyやINMO Gallery、Marc Selwyn Fine Artなどでグループ展に出展。
araiawajuka.com hayamaprojects.com

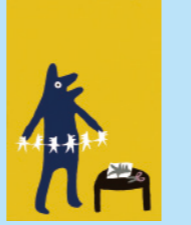


2B Gallery

6 渡邊聖子 Seiko Watanabe
写真と写真以外を使って写真について考える制作をする
□鳥取県生まれ。ARTIST in Studio(BankART/横浜/2007年)、個展〈否定〉・〈化粧〉(明るい部屋/東京/10年)・〈結晶〉(現代HEIGHTS/東京/10年)。展示「石の娘」・「石の娘/娘の石」(blanClass/横浜/10年・12年)、ソウルフォト出展(Coex Hall/ソウル/10年)、キャノン写真新世紀佳作入選(08年)、その他グループ展等。



7 宇田奈緒 Nao Uda
時間の流れと共に変化する物事、変わらないで欲しいと願う人の想い、生まれた場所や育った環境によって異なる他者の人生や思考、言語に興味があります。写真、自己の分身的役割を担う「ヌー」というキャラクター、インスタレーション、インタビュー等を用いて、作品制作をしています。
□1983年横浜生まれ。フェリス女学院高校在学中に写真に出会う。2007年アメリカニューヨークSchool of Visual Arts大学写真学科卒業。www.naouda.com 8/2-31まで台湾「小南風」ギャラリーにて個展。



8 まつなぐえみ Emi Matsunaga
自分と世界の関わりを内包した新たな世界観を生み出すよう、おもちゃや気になったものをモチーフに描いています。個展のための作品、クロッキーを制作中。レジデンス中に2m×4mの作品を描きます。オープンスタジオ中も公開制作を予定。
□徳島県出身。倉敷芸術科学大学大学院修了。VOCA2009入選。2010年COEXIST&OUCH GALLERY NY、ギャルリーナリにて個展。11年黄金町バザール2011参加。



9 秋山直子 Naoko Akiyama
主に写真を使用した展示、スライドショー、インスタレーション等を行っています。今回は横浜・黄金町を撮影した写真を中心とした展示をいたします。*mujikobo(黄金ミニレジデンスC)にて個展「サーカス」を同時開催中です。(会期:7/6-16 15:00-19:00)
□京都生まれ。14-19歳をオランダで過ごす。上智大学新聞学卒業。編集者、デザイナーを経て、2009年より写真家・元田敏三に師事。現在「黄金町 Artist In Residence Program」参加中。黄金町バザール 2011「大きい家と小さい家」にて展示。
【イベント】7月8日(日)11:00-15:00
BankART~黄金町間をポートが運行いたします。(要予約)詳細はhttp://www.facebook.com/nao.eventにてご確認ください。
7月15日(日)12:00-
BankARTschool「これからどうなるヨコハマ研究会」より始まったカレーパン・プロジェクト。"横浜名物カリカリカレーパン"を販売します。(限定50個)



10 おおざわたもこ Tomoko Ohzawa
生きるためにつくりたい。つくるために生きたい。大きな紙へのドロ잉ングを通して、わたしがわたしと向き合う作業をはじめたところ。そして、それをより人の生活に身近な作品へ変形させる試みを今回行います。
□滋賀県生まれ。中の島美術学院デザイン学科中退。



11 幸田千依 Chie Koda
絵です 絵を描いています プールと人の絵です ここ最近滞制作でうろろろしていましたが、今回久しぶりにスタジオにこもって制作できる新鮮さがあります。オープンスタジオ中は、毎日公開制作していますので遊びにきてください。
□東京生まれ長崎育ち。多摩美術大学油画科卒業。
【イベント】「歩く絵く」撮影会！
オープンスタジオ期間中、来ていただいた方に私の絵を持っていただき、BankART周辺の良い景色のところで「歩く絵く」となっております！写真も撮ります！展示します！（お土産有）お待ちしております！

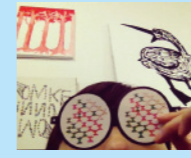


3A Gallery

12 宮崎しずか Shizuka Miyazaki
今回の作品では、人が他人から見られることを意識する象徴的な物である服をモチーフに「見る/見られる」関係を表現。人物をコマ撮りしていくピクシレーションの技法を使って、アニメーションでしか起こりえない動きと想像の世界を模索展開する。
□社会人を経て、東京藝術大学院映像研究科アニメーション専攻入学。現在修士2年。アニメーション分野において、ドローイングから立体物まで幅広いメディアを取り扱い、独自の表現の可能性を推し量っている。



13 江口久美子 Kumiko Eguchi
オープンスタジオではあえて間仕切りなしでBankARTの広い空間に合わせた制作を試みます。
□エグチクミコkmicomik:ペイント、アニメーション・映像 FUTUREDAZEのメンバーとしてイベントや短編映画制作に参加したり、monukeという3人組で定期的に作品展をしています。個人ではドキュメンタリー映画の挿絵、イベントのフライヤデザイン、フィルムを使った映像制作などをやります。



14 飯島剛哉 Gohya Iijima
日常の物を見る角度によって様々に形を変えます。それらをイメージとする時、対象物における「一つの」一般的な感想、印象となります。写真を使う事によって頭の中で統合される前の対象物の姿をFixする事が不完全ではあるけれど可能であると思います。それは、私が実は見ている対象物の姿、頭の中で再構築される前の画像に近い物ではないでしょうか。物がイメージへと変換して行く、もやもやした過程、有様を出来る限り言語化し詳らかにしたいと考えています。
□1976年神奈川県生まれ。2004年Bゼミ修了。主な個展に「A319」(BankART1929・神奈川・07年)、「Whole Lotta Rawham」(綾瀬Studio・神奈川・08年)、「Hangar」(Gallery LE DECO・東京・10年)、「GIMME SHELTER」(Gallery LE DECO・東京・12年)など。主なグループ展に、第37回Bゼミ展「火星の生活」(BankART1929馬車道・神奈川・04年)、「Wallpapers」(bianclass・神奈川・10年)など。



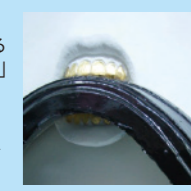
15 「ヨコラボ」 Yokolab+
中村達哉+安藤真理+眼鏡太郎
本企画は横浜の小劇場、STスポットの主催で開催された舞台表現者育成事業「ヨコラボ」(Yokohama Performing Arts Laboratory)に端を発しています。ダンサー1名、俳優2名といった異なるジャンルによるメンバーとの協働作業から、シーンが立ち上がる可能性を追求しています。オープンスタジオでは、「公開制作」という形式を方法的に用いることで、必ずしも作品に完結しない時間と空間を提示します。
□中村達哉(代表者): 2010年、2011年度「ヨコラボ」集団創作コースリーダー/オブザーバーを担当。
【イベント】パフォーマンス
7月7日(土)16:00-16:30、8日(日)16:00-16:30、14日(土)18:00-18:30、15日(日)18:00-18:30、16日(月)17:00-17:30



16 テラダケイゴ Keigo Terada
レオナルドダヴィンチの言葉
「壁の汚れや「しみ」を見つめていると、そこに樹木や顔、風景などさまざまなものが浮かび上がってくる」
姉のこどもが紙を切り抜いてファミコンを作り、紙のゲーム画面を見つめて空想によって「しみ」をマリオと見立てて遊んでいる「紙のファミコン」これらの思想と行為の共通性をテーマにした公開制作を行っています。
□1983年生まれ。2002年、京都嵯峨芸術大学中退。個展「テラダヨカイ博物館」(関内外OPEN)/宇徳ビルヨカイ408号室/12年)



17 三宅由梨 Yuri Miyake
一境界と境界の狭間に立ち上る。私たちを根源的につかさどる得体のしれぬ。なにか。神々しく、同時に不気味である。「なにか」に魅せられている。
□2004年、多摩美術大学美術学部工芸学科金属コース卒業。07年、ロンドン大学 Chelsea College of Art and Design BA ファインアート彫刻コース卒業。現在東京在住。



3B Gallery

18 続・朝鮮通信使
江戸時代の日韓の交流史をひきながら、現在の日韓の文化交流を推進するプロジェクト。2010年夏は瀬戸内国際芸術祭では、船をチャーターし、瀬戸内の各都市を巡った。2011年春にはソウルから釜山まで南下。今年の夏は大阪から東海道を中心に打楽器隊とともにツアーを行なう。規模をあげながら9年間続ける予定。



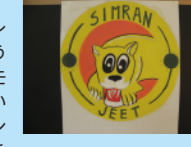
19 開港5都市モボ・モガを探せ！
開港5都市である、函館・新潟・横浜・神戸・長崎に1917年頃から戦前まで数多くいたモダンボーイ、モダンガールを探し写真収集と5都市を結ぶプロジェクトの本が完成しました。これから「アジア・ユーラシア モボ・モガを探せ！」に突入します。



20 飯塚 緑 Midori Iizuka
今回のレジデンスでは、3Fフロアのでこぼこした形・円弧など、床に残る傷跡と横浜の景色からインスピレーションを得て制作を展開。床からのテクスチャーを利用し、この場所でしか作れない大きなドローイングに挑戦する。
□東京造形大学テキスタイルデザイン専攻卒業後、同大学院造形研究科造形専攻美術研究領域修了。布にシルクスクリーンと染料を用いて作品制作をする。



21 佐々木 哲 Tetsu Sasaki
ペインティングとドローイングを中心とした作品を制作。シャレ気の良いモノじゃなく、寂れつつもモノ、美術とは関係なさそうな自分にはいかしたデザイン、誰にも注目されなそうな風景やモノをモチーフにつかかって描いています。今回スタジオで制作しているのは、前に行った旅行先のインドで宿泊したボロい安宿のカンバンで、その宿の感じを見て、「いつかここに似合ったカンバンを俺が作ってやりたい」と思い、そのカンバンの制作をしています。
□1982年横浜生まれ。2003年お茶の水美術専門学校卒業。



22 清水総二 Soji Shimizu
町を歩いて拾い集めた写真をもとにしたイメージを、キャンバスに定着させています。何度もイメージを更新し塗りつぶし、原形がなくなっているものもあります。オープンスタジオでは、取材地名と絵を並べて展示したいと思っています。
□1983年三重生まれ。東京造形大学グラフィックデザイン専攻中退後、筑波大学芸術専門学群卒業。



23 木村友輝 Yuki Kimura
「テクノスケープ」という言葉はテクノロジー(技術)とランドスケープ(景観)との既存する合成語であり、工場や鉄塔、ダムなどの産業景観をあらわしている。それら景観に共通し、自分が本能的に魅力を感じる部分を抽出するとさらに造形物の「角」「秩序立った連続性」といった言葉が出てくる。それらをキーワードに作品を制作してきた。これらコンセプトを主軸に、BankART 3階の複雑なマチュールを持った床・壁・天井に対応した制作・実験ができればと思っている。
□1984年東京都生まれ。多摩美術大学美術学部油画専攻卒業。

